

(HP公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：公明党政務調査（同行議員：自民党青雲会 永井学議員）

2 調査報告概要

調査者 会派名等	[会派名、調査者全員の氏名] 公明党 佐野弘仁 (他 自民党青雲会 永井学議員)
調査内容	<p>1 調査目的</p> <p>①【エアポート支援事業、とっとり移住応援について】</p> <p>空港利用促進も含め、移住定住を目指している施策の調査。「移住定住促進」や「関係人口促進」を目指し、首都圏に赴く際の航空券代を県がサポートする。特筆すべきことは、「子ども達に関する支援」として、鳥取県内に住む子ども達に県内で体験できない事を体験させるために県外へ赴き学習する為の補助を出しているということ。</p> <p>移住促進等もあるが、人材育成、郷土教育にも寄与している。山梨県でもリニア甲府駅開業を見越して、空と陸の交通機関の違いはあるが、公共政策として本県にも寄与できるものと考え、調査目的とした。</p> <p>②【智頭町への移住・定住喚起政策について】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「空き家を利活用した再生住宅」町内に7棟をリノベーションして、所有者より町が無償貸与を受け、これを町外からの移住者に低額の家賃で貸し出している。仕事は町外で働き、町内に住んで貰い、定住人口増を目指す。限界集落の解消や空き家対策と、移住政策を連結させた政策である。</li><li>・「子育て世代を中心とした若者などの移住政策」 45歳未満で新築を購入・改修した場合の補助。新子世代の支援の実施</li><li>・「自然を活用した子育て支援」森のようちえんを町が有効活用しており、積極的な幼稚園運営や保育の支援を実施している。また自然保育の一環として自然に親しみを持ってもらう為に「ウッドスタート」と称し、赤ちゃん誕生の際には木のおもちゃをプレゼントしている。</li><li>・「おせっかい奨学パッケージ」町費と共に、篤志家からの寄付も併せて、町ぐるみで奨学基金を作り、子どもの学習支援として実施している。また町外に出て行った子ども達には、町に戻りたいと思って貰える様に、故郷の情報を送って、子ども達への郷土愛の醸成を図っている。</li></ul> <p>上記については以下の伝統的建造物群保存地区利活用を併せ、本県とは地</p>

調査内容	<p>勢も含め、似通っている地域性も有ることから、政策的に参考とするための調査目的とした。</p> <p>③【鳥取県、智頭町、板井原集落の伝統的建造物群保存地区利活用について】 平成16年1月に鳥取県伝統的建造物群保存地区に選定され、集落内の110棟あまりの伝統的建造物群と集落を取り囲む山林や、実際に使われていた生活用具などの生活環境が一体となった歴史的風致を形成している。所在地は山深くに在り、荒廃寸前だった中山間の限界集落を町が整備して、古民家等を改修して人気のカフェやレストランに生まれ変わらせ、有名旅行サイトでも取り上げられており、県内外の観光客を呼び込んでいる。 町と県で補助金を1/3で応分に出し合い街並みを維持している。本県にも甲府も上九一色には兜作りの旧家の家並みや、早川町茂倉の天空の村と称される様な地域も数多く県内にも点在することから、有用な歴史的財産である街並みを活かす政策提言に資する調査目的とした。</p> <p>④【島根創生計画と女性活躍の推進について】 男性の家事育児時間の創出としての所謂イクボスの推進と合わせ、島根県の掲げる「女性一人ひとりが、本人の希望に応じ、仕事や地域活動など、あらゆる分野において、個性や能力を十分発揮しながら活躍できる社会」を目指して、働く女性を応援するための施策を積極的に行なっている。 全庁部局を横断的に「女性活躍推進課」が中心となり、女性が結婚・出産・育児・介護などの理由で離職した場合の再就職支援も行っている。育児・介護と両立しながら働きたい方、転職を考えている方などには、ワンストップサービスで女性の相談員が対応している。 女性が求め、女性本意のための女性活躍ができる体制作りができていることは、本県での施策充当の必要性は大きいと考え、調査目的とした。</p> <p>⑤【イクボスの取組・女性活躍、働き方改革の現地調査】 島根県松江市 株式会社 長岡塗装店 長岡 明美 取締役（鳥取県庁、女性活躍推進課からの、鳥取県内先進例として紹介を受けた現地調査） 「男性女性にかかわらず、社員同士の理解・応援・配慮も仕事ととらえ働き甲斐のある社風・職場風土の基盤を創る」ことを目指し、女性が持つ柔軟で細やかな発想を活かすことのできる職場風土を構築している。年間での採用も女性の採用30%以上、各種検定・資格取得受験者数に占める女性社員の割合を30%以上としている。女性の育児などのための突発的な時間が必要と成ることが多いことから、1時間単位での有給取得を可能にしたことが始まり</p>
------	--

調査内容	<p>で、男性社員も同じく子育てや、子どもの授業参観や急な病気でも躊躇なく休める雰囲気作りも行われ、大きくイクボスが推進されている。</p> <p>家庭生活にも理解のある会社だということが業界を問わず評判となり、人手不足の時代にも関わらず入社希望者は後を絶たない。政策、施策の実施先進例の確認として調査目的とした。</p> <p>⑥【島根県の学校教育に於ける、故郷教育の推進、郷土愛醸成での人づくり】 郷土愛を育むことを目的とした「故郷教育の推進」ということで、平成17年から島根県内の全小中学校を対象に、年間35時間以上の故郷教育を実施している。(小学校197校、中学校92校)</p> <p>県で予算が不足した場合には、市町村が負担している。当初は行政負担が発生することで市町村からの反発もあったが、児童、生徒に故郷を愛する心の醸成を粘り強く語る県担当者の働きかけで解消したものと聞いた。</p> <p>単なる履修学習範囲とはせず、小中で育んだ郷土愛の更なる醸成と定着を目指し、高校生には、「学校と地域の連携」を推進させている。</p> <p>これは地域課題解決型学習として、高校と地域との連携で地域には「高校魅力化コンソーシアム」という組織を作り、地域の方と一緒にこの街がどうすれば良くなるかなどを考える機会を連続して設けていることが特筆すべきこと。</p> <p>山梨県で行われている郷土愛醸成のためのコンクールを発展深化させる政策立案の方向性確認のため調査目的とした。</p> <p>2 調査テーマ</p> <p>①エアポート支援事業、とっとり移住応援について。 ②智頭町への移住・定住喚起政策について。 ③鳥取県、智頭町、板井原集落の伝統的建造物群保存地区利活用について。 ④島根創生計画と女性活躍の推進について。 ⑤イクボスの取組・女性活躍、働き方改革の実地調査。 ⑥島根県の学校教育に於ける、故郷教育の推進、郷土愛醸成での人づくり。</p> <p>3 調査期間 令和3年12月21日～令和3年12月23日（2泊3日）</p> <p>4 調査地 [海外→国名・都市名]・[国内→都道府県名・市町村名]</p> <p>①鳥取県 鳥取市 ②鳥取県 智頭町</p>
------	--

	③鳥取県 智頭町 板井原 ④島根県 松江市 ⑤島根県 松江市 ⑥島根県 松江市
5	その他 特に無し

### 3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

<p>[調査テーマ]</p> <p>①エアポート支援事業、とっとり移住応援について</p>	<p>[調査項目]</p> <p>「移住定住促進」「関係人口促進」内容、鳥取県内の児童が学習、自己研鑽のため、首都圏等に赴く際の航空券代を県がサポートする。「子ども達に関する支援事業」についての調査。</p> <p>[選定理由]</p> <p>本県もリニア甲府駅開業を見越せば、空と陸の交通機関の違いはあるものの、公共政策としての取り組みに参考とできるため選定した。</p> <p>[調査結果の活用方針]</p> <p>子ども達に対して、当該自治体県内で経験できない体験を、県外でさせるための空港利用の促進は全国的にも余り見られない。移住促進等もあるが、人材育成、郷土教育にも寄与していると感じた。山梨県総合計画、アクションプラン「戦略 2、3」での新たな取り組みに向け、本会議等での政策提言での参考としたい。</p>
<p>[調査テーマ]</p> <p>②智頭町への移住・定住喚起政策について。</p>	<p>[調査項目]</p> <p>空き家利用の住宅再生、子育て世代、若者などの移住政策、当該地の豊富な自然を活用した子育て支援（森の幼稚園）、奨学金制度創出や政策施策の調査。</p> <p>[選定理由]</p> <p>智頭町移住政策が、街の活性化の観点を子育て支援と連動させている政策であり、多世代の移住では無く、町内の若年層への人口流出防止策を行いながら、町外からの若者、子育て世代に寄り添い特化した政策の、成功事例であることから選定をした。</p> <p>[調査結果の活用方針]</p> <p>山陰の中山間の基礎自治体である町の政策ではあるが、全国的にも余り見られない。人口流出、少子化対策の両側面を併せ持って実施されている先進性は、本県でも同じような人口動態、地勢を有する市町村に於いて、政策推進することには大きな有益性があるものと考え。今後は本会議、委員会等での政策提言項目として活用したい。</p>

<p>〔調査テーマ〕</p> <p>③鳥取県、智頭町、板井原集落の伝統的建造物群保存地区利活用について。</p>	<p>〔調査項目〕</p> <p>移住定住政策での定住人口増の成果と共に、メディアでも多く採り上げられている。県と町がコラボしての先進的な観光政策であり、伝統的建造物群保存地区選定当該地区の開発での、観光政策等、流入人口増加の実地踏査。</p> <p>〔選定理由〕</p> <p>本県に於いても中山間にある有用財産の、自然、文化、歴史で人々との交流を楽しむ滞在型での余暇活動の利活用が可能であること。行政だけでなく住民も自らが率先して、行政と一体となって取組みを実施している先進性があるため選定した。</p> <p>〔調査結果の活用方針〕</p> <p>歴史ある中山間地域の、今は限界集落と成り得る有用財産を、荒廃させてしまうのではなく観光資源として磨きあげ、集客に結びつけた発想は特筆する。本県内でも県都甲府市では南北山間部に同一の有用性のある中山間の街並みが存在し、峡南地区や峡東地区などでも同様に活用できる場所が多く存在している。県内でも実地調査を行いながら、本会議、委員会等での政策提言項目として活用したい。</p>
<p>〔調査テーマ〕</p> <p>④島根創生計画と女性活躍の推進について。</p>	<p>〔調査項目〕</p> <p>男性の家事育児時間の創出としてのイクボスの推進、全庁部局を横断的に「女性活躍推進課」が行う、女性活躍ができる体制についての調査。</p> <p>〔選定理由〕</p> <p>島根県の掲げている「女性一人ひとりが、本人の希望に応じ、仕事や地域活動など、あらゆる分野において、個性や能力を十分発揮しながら活躍できる社会」について、「女性活躍推進課」が行っている女性本意の女性活躍ができる体制作りが先進的であったので選定した。</p> <p>〔調査結果の活用方針〕</p> <p>山梨県総合計画、アクションプラン「戦略3、政策1」での女性活躍社会の実現の新たな取組みに向け、新たに施策の補完をして行くためにも、本会議等での政策提言での参考としたい。</p>

<p>〔調査テーマ〕</p> <p>⑤イクボスの取組・女性活躍、働き方改革の現地調査。</p>	<p>〔調査項目〕</p> <p>鳥取県庁、女性活躍推進課からの、女性活躍、イクボス取組みの鳥取県内先進例として紹介を受けた現地調査。</p> <p>〔選定理由〕</p> <p>年間での女性の雇用も 30%以上で、女性の有資格者率も高い。突発的な育児休暇も 1 時間単位で有給取得を可能しており、男性社員も同じく子育てや、子どもの授業参観や急な病気でも躊躇なく休める雰囲気作りも行われている。大きくイクボスが推進されていることは特筆すべきことであり、鳥取県庁からの当該企業の推薦もあり選定した。</p> <p>〔調査結果の活用方針〕</p> <p>女性活躍もさることながら、イクボスの好事例であり、産業労働分野の公共政策としても、本県で推奨、推進が必要だと思われる施策である。</p> <p>県内雇用全体の改善にも繋がり、労働環境にも資すると考えられることから、今後の様々な政策提言に活用していく。</p>
<p>〔調査テーマ〕</p> <p>⑥鳥根県の学校教育に於ける、故郷教育の推進、郷土愛醸成での人づくり</p>	<p>〔調査項目〕</p> <p>郷土愛を育むことを目的とした「故郷教育の推進」と、中等教育課程の高校生には、「学校と地域の連携」地域課題解決型学習として、高校と地域との連携による「高校魅力化コンソーシアム」の調査。</p> <p>〔選定理由〕</p> <p>単なる履修学習範囲とはせず、小中で育んだ郷土愛の更なる醸成と定着を目指し、高校生には、「学校と地域の連携」を推進させている。</p> <p>「高校魅力化コンソーシアム」という組織を作り、地域の方と一緒にあってこの街がどうすれば良くなるかなどを考える機会を連続して設けていることも、全国的に特筆すべきことであったことから選定した。</p> <p>〔調査結果の活用方針〕</p> <p>鳥根県では 10 年以上続けて郷土教育を根付かせている。本県で行われているコンクールも良いが、郷土愛醸成のためには必要な政策課題が多いことから、本会議、委員会等での政策提言項目として活用したい。</p> <p>本報告書のテーマの①～⑥項目全ては、地方自治法 100 条第 14 項に基づく、議会活動に資する調査研究での活用としていく。</p>

4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

調査項目	都市（市町村）名・施設名・担当者名及び選定理由
<p>①エアポート支援事業、とっとり移住応援について</p> <p>1 「移住定住促進」「関係人口促進」内容、</p> <p>2 首都圏等に赴く際の航空券代を県がサポートする。「子ども達に関する支援事業」についての調査。</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>鳥取県東町一丁目 220 番地</p> <p>鳥取県庁 交流人口拡大本部 観光交流局 観光戦略課 企画担当 仲谷皇一郎 課長補佐</p> <p>鳥取県庁 交流人口拡大本部 観光交流局 観光戦略課 魅力発信担当 河本菜央美 係長</p> <p>[選定理由]</p> <p>本県もリニア甲府駅開業を見越せば、空と陸の交通機関の違いはあるものの、公共政策としての取り組みに参考とできるため選定した。</p>
<p>②智頭町への移住・定住喚起政策について。</p> <p>1 空き家利用の住宅再生、子育て世代、若者などの移住政策</p> <p>2 当該地の豊富な自然を活用した子育て支援（森の幼稚園）</p> <p>3 奨学金制度創出や政策施策の調査。</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2072-1</p> <p>智頭町役場 企画課 岡本康誠 主事</p> <p>智頭町役場 教育課 大藤翔太 主事</p> <p>[選定理由]</p> <p>智頭町移住政策が、街の活性化の観点から子育て支援と連動させている政策であり、多世代の移住ではなく、町内の若年層への人口流出防止策を行いながら、町外からの若者、子育て世代に寄り添い特化した政策の、成功事例であることから選定をした。</p>
<p>③鳥取県、智頭町、板井原集落の伝統的建造物群保存地区利活用について。</p> <p>1 移住定住政策での定住人口増の成果</p> <p>2 伝統的建造物群保存地区の観光政策での、流入人口増加の実地踏査。</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>鳥取県八頭郡智頭町市瀬</p> <p>智頭町役場 企画課 岡本康誠 主事</p> <p>[選定理由]</p> <p>本県に於いても中山間にある有用財産の、自然、文化、歴史で人々との交流を楽しむ滞在型での余暇活動の利活用が可能であること。行政だけでなく住民も自らが率先して、行政と一体となって取組みを実施している先進性があるため選定した。</p>



<p>④島根創生計画と女性活躍の推進について。</p> <p>全庁部局を横断的に「女性活躍推進課」が行う、女性活躍ができる体制についての調査。</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>島根県松江市殿町1番地  島根県庁 政策企画局 女性活躍推進課 小山美保 課長  島根県庁 女性活躍推進課 女性活躍企画推進グループ  規家幸枝 グループリーダー</p> <p>[選定理由]</p> <p>「女性一人ひとりが、本人の希望に応じ、仕事や地域活動など、あらゆる分野において、個性や能力を十分発揮しながら活躍できる社会」について「女性活躍推進課」が行っている女性本意の女性活躍ができる体制作りが先進的であったので選定した。</p>
<p>⑤イクボスの取組・女性活躍、働き方改革の現地調査。</p> <p>鳥取県庁、女性活躍推進課からの、女性活躍、イクボス取組みの鳥取県内先進例として紹介を受けた現地調査。</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>島根県松江市西嫁島1丁目2-14  株式会社 長岡塗装店 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 常務取締役</p> <p>[選定理由]</p> <p>年間での女性の雇用も30%以上で、女性の有資格者率も高い。突発的な育児休暇も1時間単位で有給取得を可能しており、男性社員も同じく子育てや、子どもの授業参観や急な病気でも躊躇なく休める雰囲気作りも行われている。大きくイクボスが推進されていることは特筆すべきことであり、鳥取県庁からの当該企業の推薦もあり選定した。</p>
<p>⑥島根県の学校教育に於ける、故郷教育の推進、郷土愛醸成での人づくり。</p> <p>1 郷土愛を育むことを目的とした「故郷教育の推進」</p> <p>2 中等教育課程の高校生の「学校と地域の連携」</p> <p>3 地域課題解決型学習、高校と地域連携による「高校魅力化コンソーシ</p>	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>島根県松江市殿町1番地  島根県教育庁 木原和典 参事  島根県教育庁 社会教育課 野々内昭浩 課長  島根県教育庁 教育指導課 地域教育推進室 嘉本博行 調整監  島根県教育庁 社会教育課 社会教育グループ 山本一穂 グループリーダー</p> <p>[選定理由]</p> <p>単なる履修学習範囲とはせず、小中で育んだ郷土愛の更なる醸成と定着を目指し、高校生には、「学校と地域の連携」を推進させている。</p>

アム」の調査。	「高校魅力化コンソーシアム」という組織を作り、地域の方と一緒にこの街がどうすれば良くなるかなどを考える機会を連続して設けていることも、全国的に特筆すべきことであったことから選定した。
---------	---

## 5 調査内容

○調査テーマ：(交通機関への支援事業について、移住・定住喚起政策について、中山間地域等の伝統的建造物群保存地区利活用について、女性活躍の推進、イクボスの取組、働き方改革の実地調査について、学校教育に於ける、故郷教育の推進、郷土愛醸成での人づくりについて)

調査項目	<p>①エアポート支援事業、とっとり移住応援について</p> <p>1 「移住定住促進」「関係人口促進」内容、</p> <p>2 首都圏等に赴く際の航空券代を県がサポートする。「子ども達に関する支援事業」についての調査。</p>		
調査都市等	鳥取県東町一丁目 220 番地	調査日	12月21日
調査結果概要	<p>移住定住促進や、関係人口促進などを目的として、首都圏に赴く際の航空券代を県がサポートしている。特に特筆すべき点は「子ども達に関する支援」であった。鳥取県内に住む子ども達に対して県内では体験できない事を体験させるために補助を出しているということであり、移住促進等もあるが、人材育成、郷土教育にも寄与している。</p> <p>山梨県でもリニア甲府駅開業を見越して、空と陸の交通機関の違いはあるが、公共政策として本県にも寄与できるものと考えられる。</p>		

調査項目	<p>②智頭町への移住・定住喚起政策について。</p> <p>1 空き家利用の住宅再生、子育て世代、若者などの移住政策</p> <p>2 当該地の豊富な自然を活用した子育て支援（森の幼稚園）</p> <p>3 奨学金制度創出や政策施策の調査。</p>		
調査都市等	鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2072-1	調査日	12月22日
調査結果概要	<p>・「空き家を利活用した再生住宅」町内に7棟をリノベーションしており、所有者より町が無償貸与を受けて、これを町外からの移住者に低額の家賃で貸し出している。仕事は町外で働いてもらっても、町内には住んで貰って定住人口増を目指しており、画期的な施策だと思う。限界集落の解消や空き家対策と、移住政策を連結させた政策であった。</p> <p>次に「子育て世代を中心とした若者などの移住政策」として45歳未満で新築を購入・改修した場合の補助。新子世代の支援の実施を行っている。また次にこの世代には「自然を活用した子育て支援」森のようちえんを町が有効活用し、積極的な幼稚園運営や保育の支援を実施している。更に自然保育の一環として自然に親しみを持ってもらう為に「ウツ</p>		

	<p>ドスタート」と称し、赤ちゃん誕生の際には木のおもちゃをプレゼントしている。更に「おせっかい奨学パッケージ」として、町出身の若者が町外への転出をしないように、町費と共に篤志家からの寄付も併せて、町ぐるみで奨学基金を作り、子どもの学習支援として実施している。</p> <p>その上で、町外に出て行った子ども達には、町に戻りたいと思って貰える様に、故郷の情報を送って、子ども達への郷土愛の醸成を図っている。</p> <p>智頭町の移住政策は、対應對処の施策の方向性が重層的に用意されており、政策課題へのアプローチも明瞭で、政策メニューへの具体的な対策が打たれている。行政的にも若い職員の意見が反映されている住民福祉向上を目指した子育て支援は、多くの民意を汲んでいるものだと思える。</p>
--	--

<p>調査項目</p>	<p>③鳥取県、智頭町、板井原集落の伝統的建造物群保存地区利活用について。</p> <p>1 移住定住政策での定住人口増の成果</p> <p>2 伝統的建造物群保存地区の観光政策での、流入人口増加の实地踏査。</p>		
<p>調査都市等</p>	<p>鳥取県八頭郡智頭町市瀬</p>	<p>調査日</p>	<p>12月22日</p>
<p>調査結果概要</p>	<p>平成16年1月に鳥取県伝統的建造物群保存地区に選定され、集落内の110棟あまりの伝統的建造物群と集落を取り囲む山林や、実際に使われていた生活用具などの生活環境が一体となった歴史的風致を形成している。所在地は山深くに在り、荒廃寸前だった中山間の限界集落を町が整備して、古民家等を改修して人気のカフェやレストランに生まれ変わらせ、有名旅行サイトでも取り上げられており、県内外の観光客を呼び込み交流人口の増加が諮られている。</p> <p>保存地区を中心とした街並みの整備には、町と県で補助金を1/3で応分に出し合い街並みの整備、維持を行っている。本県にも甲府も上九一色には兜作りの旧家の家並みや、早川町茂倉の天空の村と称される様な地域も数多く県内にも点在することから、限界集落をみすみす荒廃させてしまうのではなく、観光資源として磨きあげ、集客に結びつけていくことが、視察地と同じく肝要であると感じる。</p>		

調査項目	④島根創生計画と女性活躍の推進について。 全庁部局を横断的に「女性活躍推進課」が行う、女性活躍ができる体制についての調査。		
調査都市等	島根県松江市殿町1番地	調査日	12月22日
調査結果概要	<p>男性の家事育児時間の創出としての所謂イクボスの推進と合わせ、島根県の掲げる「女性一人ひとりが、本人の希望に応じ、仕事や地域活動など、あらゆる分野において、個性や能力を十分発揮しながら活躍できる社会」を目指して、働く女性を応援するための施策推進を積極的に行なっている。全庁部局を横断的に「女性活躍推進課」の女性課長さんと共に積極的に女性職員を中心として、女性が結婚・出産・育児・介護などの理由で離職した場合の再就職支援も行っている。また施策展開における相談体制として、育児・介護と両立しながら働きたい女性の方、転職を考えている方などには、ワンストップサービスで女性の相談員が対応している。</p> <p>女性が求め、女性本意のための女性活躍ができる体制作りができていくことは、本県での施策充当の必要性は大きいと考え、特に、これらのテーマを部局横断の柱として位置付けを行なっていることは素晴らしいことだと感じる。山梨県でも具体的なテーマを決めて、部局横断のプロジェクトチームを立ち上げて良いのではと感じる。</p>		

調査項目	⑤イクボスの取組・女性活躍、働き方改革の現地調査。 鳥取県庁、女性活躍推進課からの、女性活躍、イクボス取組みの鳥取県内先進例として紹介を受けた現地調査。		
調査都市等	島根県松江市西嫁島1丁目2-14 株式会社 長岡塗装店	調査日	12月22日
調査結果概要	<p>年間での当該企業の女性の雇用も30%以上であり、女性社員の有資格者率も高いことを確認した。説明のなかでは、子育て世代女性社員の大きな悩みであった突発的な育児休暇も1時間単位で有給取得を可能としており、副次効果として男性社員も同じく子育てや、子どもの授業参観や急な病気でも躊躇なく休める雰囲気作りも行われている。このことから、大きくイクボスが推進されていることは特筆すべきことであり、イクボスとして、上司の理解を深めることは当然だが会社内の雰囲気作りも大切だと感じられた。会社で安心して働ける、家庭生活にも理</p>		

	解のある会社であることが地元マスメディアでも報道されたことで、入社希望者も絶えないと述べられていた。
--	--

調査項目	⑥島根県の学校教育に於ける、故郷教育の推進、郷土愛醸成での人づくり。 1 郷土愛を育むことを目的とした「故郷教育の推進」 2 中等教育課程の高校生の「学校と地域の連携」 3 地域課題解決型学習、 高校と地域連携による「高校魅力化コンソーシアム」の調査。		
調査都市等	島根県松江市殿町1番地	調査日	12月23日
調査結果概要	<p>郷土愛を育むことを目的とした「故郷教育の推進」ということで、平成17年から島根県内の全小中学校を対象に、年間35時間以上の故郷教育を実施している。(小学校197校、中学校92校)</p> <p>県で予算が不足した場合には、市町村が負担しており、このことから当初は行政負担が発生することで市町村からの反発もあったが、児童、生徒に故郷を愛する心の醸成を粘り強く語る県担当者の働きかけで解消したものと聞いた。</p> <p>単なる履修学習範囲とはせず、小中で育んだ郷土愛の更なる醸成と定着を目指し、高校生には、「学校と地域の連携」を推進させている。</p> <p>これは地域課題解決型学習として、高校と地域との連携で地域には「高校魅力化コンソーシアム」という組織を作り、地域の方と一緒にあってこの街がどうすれば良くなるかなどを考える機会を連続して設けていることが特筆すべきこと。島根県の担当者からは「10年以上続けて、ようやく今その芽が出始めた。」と述べられていたのが非常に印象的であった。</p> <p>山梨県で行われているコンクールだけでは、郷土愛の醸成はなかなか難しいことであることだと思われ、本県でも更なる故郷教育への対応が必要であるものと感じる。</p>		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
佐野弘仁	<p>①鳥取県、智頭町、板井原集落の伝統的建造物群保存地区利活用について。</p> <p>智頭町の移住政策は、対応処の施策の方向性が重層的に用意されており、政策課題へのアプローチも明瞭で、政策メニューへの具体的な対策が打たれている。行政的にも若い職員の意見が反映されている住民福祉向上を目指した子育て支援は、多くの民意を汲んでいるものだと思う。</p> <p>②智頭町への移住・定住喚起政策について。</p> <p>智頭町の移住政策は、対応処の施策の方向性が重層的に用意されており、政策課題へのアプローチも明瞭で、政策メニューへの具体的な対策が打たれている。行政的にも若い職員の意見が反映されている住民福祉向上を目指した子育て支援は、多くの民意を汲んでいるものだと思う。</p> <p>③鳥取県、智頭町、板井原集落の伝統的建造物群保存地区利活用について。</p> <p>本県にも甲府も上九一色には兜作りの旧家の家並みや、早川町茂倉の天空の村と称される様な地域も数多く県内にも点在することから、限界集落をみすみす荒廃させてしまうのではなく、観光資源として磨きあげ、集客に結びつけていくことが、視察地と同じく肝要であると感じる。</p> <p>④島根創生計画と女性活躍の推進について。</p> <p>女性が求め、女性本意のための女性活躍ができる体制作りができていることは、本県での施策充当の必要性は大きいと考え、特に、これらのテーマを部局横断の柱として位置付けを行なっていることは素晴らしいことだと感じる。山梨県でも具体的なテーマを決めて、部局横断のプロジェクトチームを立ち上げて良いのではと感じた。</p> <p>⑤イクボスの取組・女性活躍、働き方改革の实地調査について。</p> <p>会社で安心して働ける、家庭生活にも理解のある会社であることが地元マスメディアでも報道されたことで、入社希望者も絶えないと、担当者が述べられていたことが非常に印象的であった。また、大きく</p>

	<p>イクボスが会社で推進されていることは特筆すべきことであるが、ここでも常務取締役が女性であることで、きめ細かな配慮が成されイクボスが推進されているものだと思える。また上司の理解を深めることは当然だが、会社内の雰囲気作りも同じく大切なことだと感じた。</p> <p>⑥島根県の学校教育に於ける、故郷教育の推進、郷土愛醸成での人づくりについて。</p> <p>地域の方と一緒にこの街がどうすれば良くなるかなどを考える機会を連続して設けていることが特筆すべきこと。島根県の担当者からは「10年以上続けて、ようやく今その芽が出始めた。」と述べられていたのが非常に印象的であった。</p> <p>山梨県でも郷土愛の醸成についてコンクールなどが行われているが、郷土愛の醸成は地域連携が重要なファクターであり、教育での人材育成が無ければ、なかなか難しいことであることだと思われた。</p> <p>本県でも更なる故郷教育への対応が必要であるものと感じる。</p>
--	---



※調査テーマ毎に作成

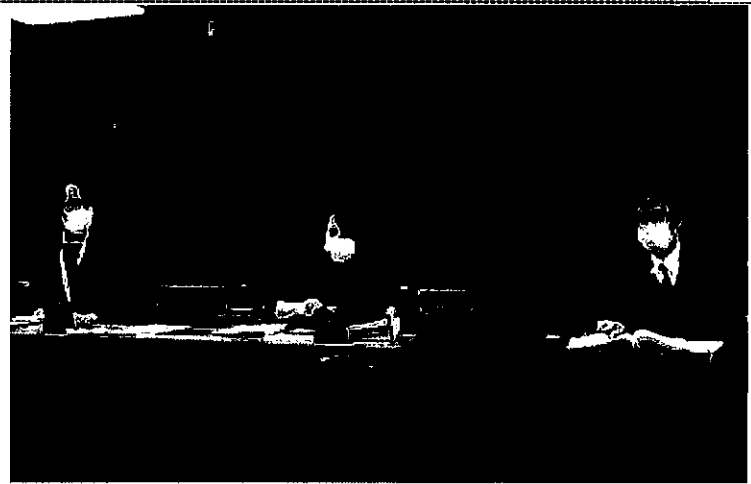
6 調査状況 (写真)

○ 令和3年 12月 21日 調査先 ( 鳥取県庁 )



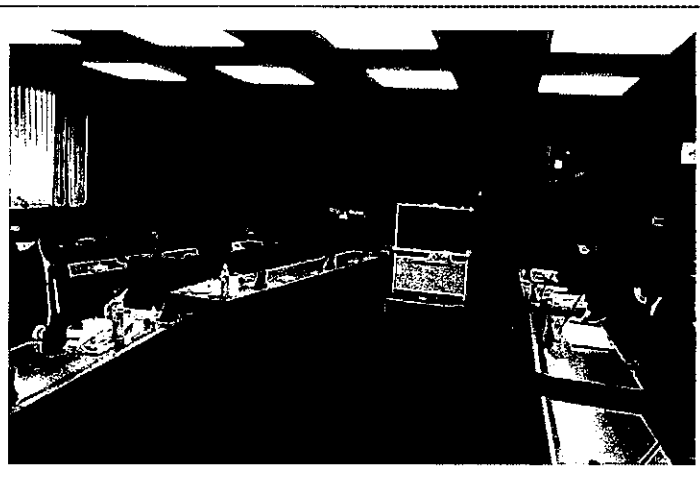
(コメント)

会派 自民党青雲会、永井学議員と  
共に、超党派での視察。  
鳥取県庁にて、担当者の皆さんから  
ご教示を頂く。



(コメント)

鳥取県庁職員の方々から「エアポート  
支援事業、とっとり移住応援」  
についての視察の模様。



○ 令和3年 12月 22日 調査先（鳥取県八頭郡智頭町役場）



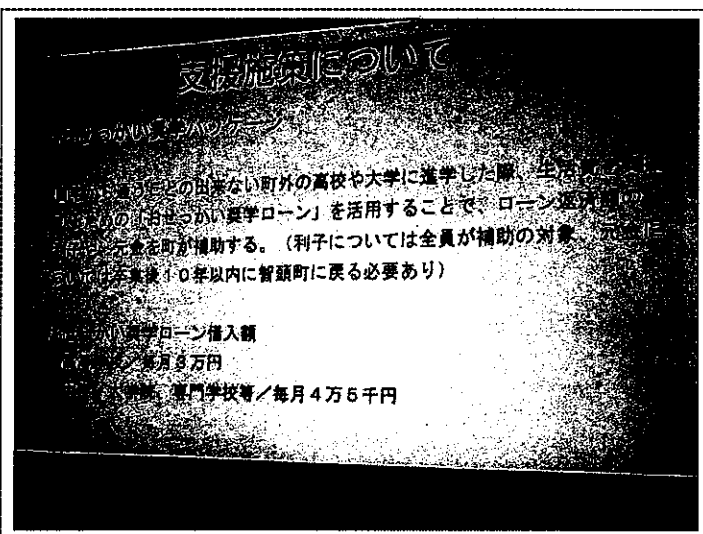
(コメント)

会派 自民党青雲会、永井学議員と共に  
鳥取県八頭郡、智頭町役場、  
当職員の方々からご教示頂く。



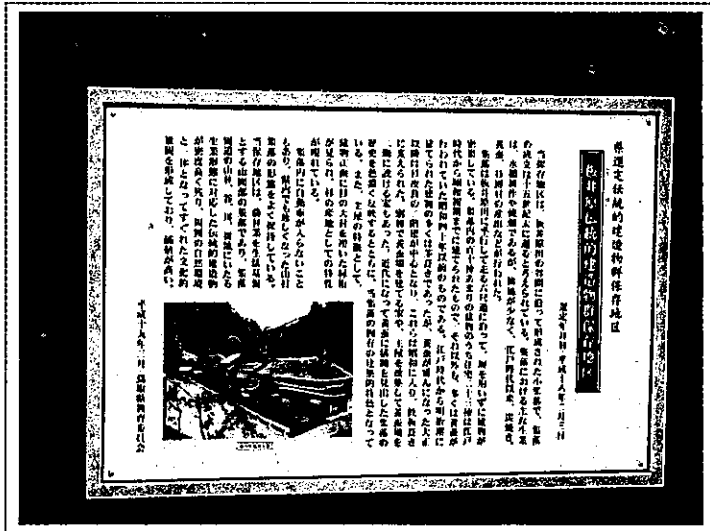
(コメント)

若い職員の方に詳細で説明して戴き  
情熱と力強さを感じる説明が心地よい  
最下段は若者への支援施策である。  
独自の奨学金返還制度の創設は  
特筆すべきことだと考える。



○ 令和3年 12月 22日

調査先（鳥取県智頭町、板井原集落 伝統的建造物群保存地区）



(コメント)

智頭町役場から車で1時間ほど走り、  
山奥に

限界集落をみすみす荒廃させるのでは  
無く、官民一体での観光資源として  
磨きあげ、集客に結びつけている。



(コメント)

坂井原集落案内板と同じアングルから  
写真を撮影。雪の佇まいも趣深いもの  
が有る。今回は板井原集落の古民家  
カフェ「和佳」さんは定休日で立ち  
寄ることが出来なかったのは残念



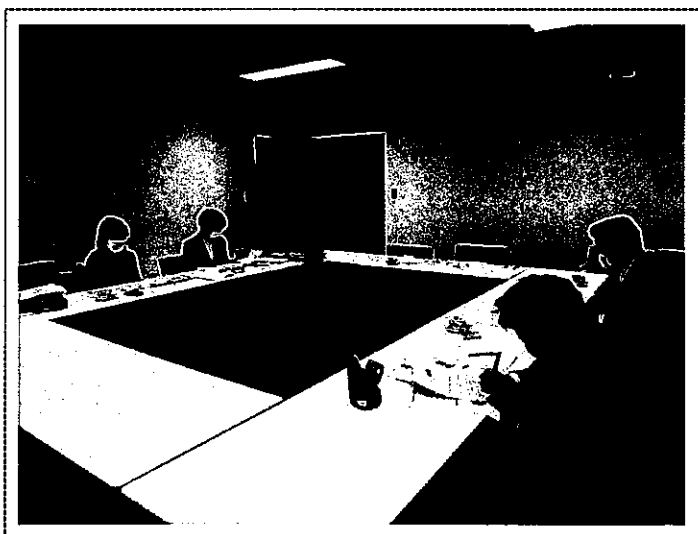
○ 令和3年 12月 22日 調査先（ 島根県庁 ）



(コメント)

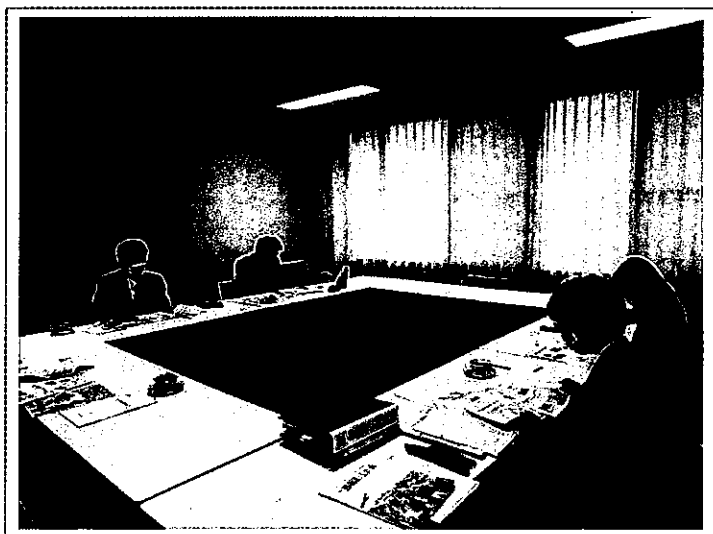
女性活躍推進課 の方々より女性活躍  
など、ご教示頂く。

女性が求め、女性本意のための女性  
活躍ができる体制作りができてい  
ることは、本県での必要性も大きい。

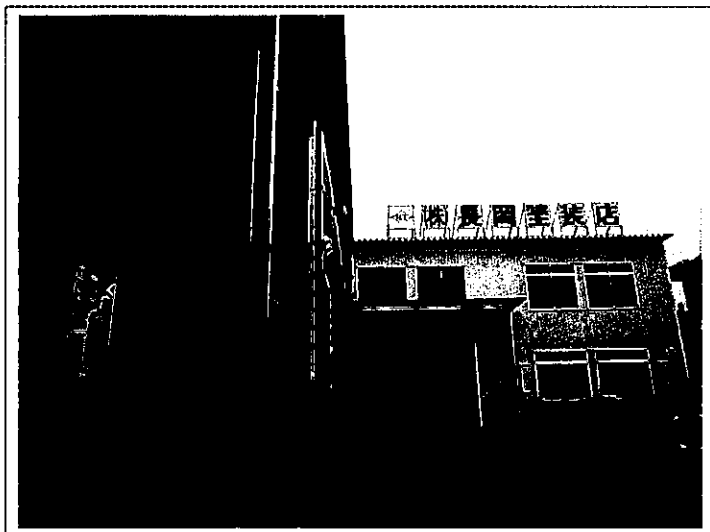


(コメント)

部局横断の柱として女性活躍の位置  
付けを行なっていることは、非常に  
素晴らしいことだと感じた。



○ 令和3年 12月 22日 調査先（島根県松江市西嫁島 株式会社 長岡塗装店 ）



(コメント)

会社で安心して働ける、家庭生活にも理解のある会社であることが地元マスメディアでも報道されたことで、入社希望者も絶えないことは、結果として評価が高いことである。

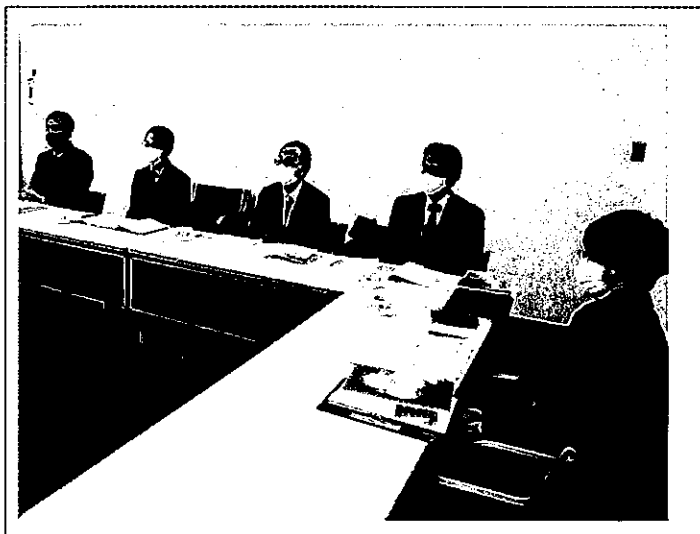


(コメント)

社内では5S管理が徹底されており、仕事の工程表も「目で見える管理」で見える化が推進されている。テクニカルな部分でも、育児休暇や一時的な帰宅も管理できている。

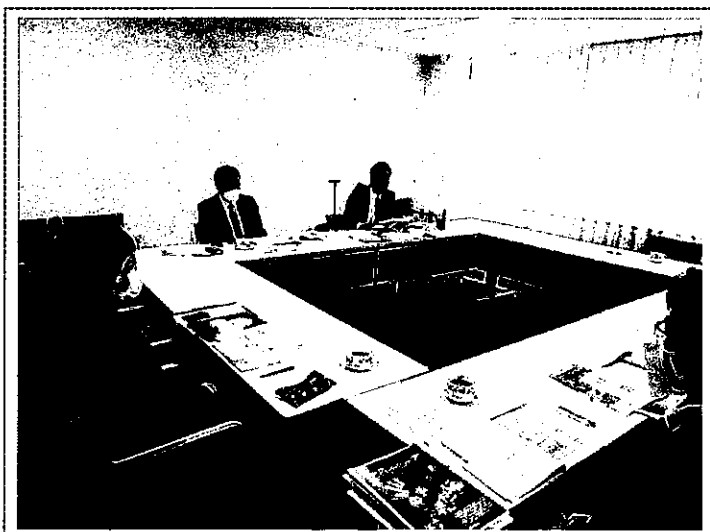


○ 令和3年 12月 23日 調査先（島根県庁）



(コメント)

会派 自民党青雲会、永井学議員と共に  
島根県庁教育委員会の担当職員の方々からご教示頂く。



(コメント)

島根県の学校教育に於ける、故郷教育の推進を地域の方と一緒に、街がどうすれば良くなるかを「10年以上続けて、ようやく今その芽が出始めた。」と述べられていたのが印象的であった。

